

⋓ ウメモト インフォメーション←



2024年 6月10日 担当 虻川

米ぬか油、8 カ月連続据え置き 6 月卸値

スナック菓子の製造などに使う米ぬか油の6月の卸値が8カ月連続の据え置きで決まった。食用油 メーカーが製菓会社などに販売する大口需要家価格は、前月に続き1キログラム394~395円だ った。

米ぬか油は玄米の精米時に出る米ぬかの油分を抽出してつくる。メーカーは国産原料のほか、アジ アや南米などから輸入する「米ぬか原油」を原料に使う。

家庭用の需要が引き続き好調だった。競合する家庭用オリーブオイルが南欧での不作に伴い大幅 に値上がりしたほか、海上物流網の混乱の影響で品薄感も強まった。「一部のスーパーでオリーブの 代わりに米ぬか油の陳列を増やす動きがみられた」(食用油メーカー)ことが出荷増に影響している との声が出ている。

日経新聞



⋓ ウメモト インフォメーション←



2024年 6月10日 担当 虻川

パーム油・ヤシ油、5カ月ぶり下落 国際相場安を反映

揚げ油や洗剤原料などに使うパーム油とヤシ油の 6 月の卸値が 5 カ月ぶりに下落した。製油会社 が加工油脂メーカーや製麺会社などの需要家に販売するパーム油の卸価格は1キログラム275~ 285 円と、前月に比べ中心値で 8 円 (2.8%) 安くなった。ヤシ油も 1 キロ 478 円と同 3 円 (0.6%) 下げた。値下がりはいずれも1月以来で、国際相場の下落を反映した。

パーム油の国際指標となるマレーシア市場の先物価格(中心限月)は、5 月上旬に一時 1 トン 3767 リンギと、2 月以来 3 カ月ぶりの安値を付けた。4 月上旬には一時 22 年 11 月以来の高 値まで上昇したが、その後は下落に転じていた。

マレーシアパーム油委員会(MPOB)が 5 月上旬に公表した 4 月の粗パーム油生産量は前月に 比べ約 8%増の 150 万トンとなる一方、輸出量は 7%減の 123 万トンにとどまった。季節的な減 産期を抜けて生産量が増加する中、輸出がやや軟調に推移したことで、4 月末の在庫は 6 カ月ぶ りに増加。相場の下押し圧力となった。

一方、ヤシ油は指標となるロッテルダムの現物相場が高止まりしており、国内卸値も小幅の下げにと どまった。主要生産国であるフィリピンで干ばつ気味の気候が続き、相場の下支え要因になった。「今 後も降雨量が平年を下回るとの見方もあり、降雨不足と高温による生産量への影響に注視が必要」 (製油会社) との声も出ている。



ウメモト インフォメーション

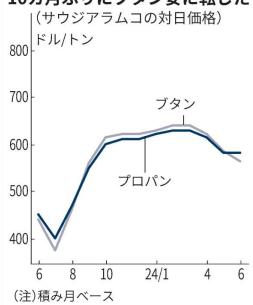


2024年 6月 10日 担当 虻川

6月積み中東産 LPG、ブタン 3%安 アジア需要鈍化で

サウジアラビアの国有石油会社サウジアラムコは、液化石油ガス(LPG)のうち石油化学原料に使 うブタンの 6 月積み対日輸出価格を3%引き下げると、日本のLPG 元売りに通知した。ブタンの下 落は3カ月連続だ。





ブタンは 1 トン 565 ドルと、前月比 20 ドル (3%)

下落した。 給湯や暖房に使うプロパンは前月から横ばいの 1 トン 580 ドルだった。 ブタンの輸出価格がプロパンを下回るのは、 2023 年 8 月積み以来 10 カ月ぶり。

国内の LPG 元売りによれば「中国などアジア市場で ブタン需要が鈍化しているほか、中東からの供給も堅

調」という。LPG のなかでも、ブタンに余剰感が出ているようだ。

LPG は原油の掘削に伴って生産されるため、原油相場と連動しやすい。国際指標の北海ブレント原油先物は、5 月末時点で 1 バレル 80 ドル台前半と前月末から 7%下落し、軟調に推移している。



リメモト インフォメーション



2024年 6月 10日 担当 虻川

ドバイ原油・10 日午前、下落 79.80 ドル前後

原油でアジア市場の指標となる中東産ドバイ原油のスポット価格は 10 日午前、下落した。取引の 中心となる 8 月渡しは 1 バレル 79.80 ドル前後と前週末に比べ 0.30 ドル安い水準で推移してい る。

日経新聞





2024年 6月 10日 担当 虻川

東証寄り付き 日経平均は反発 円安追い風、一時上げ幅拡大

10 日前場寄り付きの東京株式市場で日経平均株価は反発で始まり、前週末に比べ 60 円ほど高い 3 万 8700 円台前半で推移している。外国為替市場の円安・ドル高の進行を追い風に、輸出関連株などが買われて日経平均を押し上げている。円安を受けた海外投機筋による株価指数 先物への買いが加速し、上げ幅は一時 100 円を超えた。

前週末発表の5月の米雇用統計は非農業部門の雇用者数が市場予想を上回った。米労働市場の底堅さを受けて過度な利下げ観測が後退し、米長期金利は一時4.4%台前半まで上昇した。米雇用統計の発表後に日米金利差を意識した円売り・ドル買いが膨らみ、円相場は一時1ドル=157円台に下落した。東京市場でも円安傾向が続いており、トヨタなどに買いが入っている。現時点で日経平均の一方的な上値追いは続いていない。米長期金利の上昇を受けて前週末の米株式相場が下落したことは重荷となっている。

東証株価指数(TOPIX)は反発している。

ソシオネクスや住友電、SOMPOは上昇している。一方、花王やヤマハ、エムスリーは下落している。

日経新聞